慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2000
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.5 (2000.)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20000000-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

第5号が無事に完成しました。これも特集Ⅰの荒井芳廣先生、特集Ⅱの川合隆男先生ならびに有末賢先生をはじめとする関係された先生方のお蔭です。特集Ⅰは慣例として、社会学の動向を示すような理論的テーマに充てています。最近の社会学の講義ではあまり聞かないかもしれませんが、20数年前私が社会学に初めて接した頃、ごく当り前のように「社会学と人類学は兄弟学問である」と教えられました。人類学関係者の層の厚いことは、三田の社会学の特徴の一つともなっています。3名の編集委員の間で誰からともなく人類学分野からテーマを考えられないかという話が出ました。編集委員の澤井氏から荒井先生にご相談し実現したものが今回の企画です。ベテランと若い感性とが調和して、重要な問題提起をする特集になったと思います。特集Ⅱの有賀喜左衛門については、これまでも多くの研究がありました。今回は直接有賀の薫陶を受けられた先生方と書物によって学んだ世代が同じ壇上に議論したことが、画期的であると言えましょう。このほか審査を通過した投稿論文１編、書評を2編掲載することができました。会員以外の先生方からも編集委員会の要請に快く応じてご寄稿いただきました。

過去に数号で廃刊になった『三田社会学』という雑誌があったそうです。どうやら同じ轍は踏まずに済んだようです。今後に向けていくつか課題があります。三田社会学会の活動をあまりご存知ないまま活躍されている、塾出身の社会学･人類学関係者が多くおられます。そうした力を結集できるような体制づくりが第１です。川合･山岸･藤田３先生から奥井復太郎著作集の監修料をご寄付いただいて、当面は雑誌刊行に支障ありません。しかし中長期的にはこれでも盤石なものではありません。本誌の財政基盤づくりが第２です。会員諸氏のご意見・ご提案をいただき工夫したいと考えています。

(編集委員長　熊田俊郎)

現在の体制になって２回目にもかかわらず不慣れな点が多く、編集委員会、各特集のコーディネーター及びご執筆を頂いた皆様のご協力・ご援助を賜ることで、無事出版することができました。深く感謝申し上げます。また、前号同様、梅沢印刷所には短期間の印刷製本をお願いしました。重ねて御礼申し上げます。

(編集委員会事務局記)

編集委員会

熊田 俊郎(委員長)　澤井　敦　鈴木 智之

織田 輝哉 (事務局)　岬　里美(事務局)

題字は福沢諭吉による

三田社会学

第５号

発行　2000年7月15日

編集発行:三田社会学会

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部織田輝哉研究室内

Fax 03(5427)1578

印刷:梅沢印刷所

300部発行